

平素は工業会の活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

夏の暑さも若干？揺るぎ、秋の訪れが近づいて来ているように感じます。しかし台風シーズンとなり各地で風・大雨の心配も懸念されます。災害が毎年何処かで発生し、もはや異常気象と呼ぶにはふさわしくない気がいたします。さて9月号では、7月に開催されました理事会、9月の臨時理事会、ニュースリリース等を中心にご報告いたします。

《7月理事会》

7月7日（木）14:00～工業会事務所にて、令和4年度第2回理事会が開催されました。

議題は以下の通りです。

1. 環境展出展報告
2. 委員会活動の報告
3. 外国人技能実習生の進捗状況報告
4. 特定技能に関する経産省・環境省との情報共有について
5. 経産省、環境省との今後の協議項目について
6. 顧問議員との付き合い方と今後の方向性について
7. 青年部の事業計画承認
8. 事務局からの情報提供について

《臨時理事会》

9月13日（火）14:00～阪和興業株式会社大阪本社にて、臨時理事会が開催されました。

議題は以下の通りです。

1. 環境省からの施設見学依頼について
2. 安全大会・技術品質勉強会 合同開催概要について
3. 各委員会の運営方法について
4. 定款の変更について
5. HPへのQ&Aコーナー設置検討について
6. 従業員賞与について
7. 事務局人員増強について
8. 組織図案の確認について
9. 新規会員獲得について

《ニュースリリース》

東ソー株式会社はエネルギーの脱炭素化に向けた施策として、南陽事業所において老朽化した石炭火力発電所を一つ廃止し、新たにバイオマスを主燃料とした発電所を新設することを決定した。新設する発電所では木質系燃料に加え、RPF等の廃棄物系の燃料も利用、多種多様な燃料の使用により温室効果ガス排出量削減を図るとともに廃棄物の有効利用にも取り組む。将来的にはバイオマス専焼を目指し、これによりCO2排出量を年間約50万t削減する。2026年4月の発電開始を予定。詳細は下記URLを参照願います。

<https://www.tosoh.co.jp/news/release/2022/20220727.html>

《今後の勉強会等案内》

1. 第6回安全大会および第10回技術品質勉強会 合同開催
令和4年10月21日（金）13:30～17:50 フクラシア品川クリスタルスクエア
既にご案内をさせて頂いております。WEB参加も可能です。
2. 青年部会発足会および勉強会
令和4年11月17日（木）に青年部会の発足会・勉強会が開催されます。
新たな若いメンバーが集結し、今後の工業会の発展に寄与することを期待いたします。
3. 用途開発委員会工場見学会
令和4年11月28日（月）に昭和電工株式会社への工場見学会を実施いたします。
ケミカルリサイクルの現状と今後の可能性についての視察となります。

《訃報》

当工業会会員でもあり、副会長も務められたエビス紙料株式会社取締役の海田周治氏（享年75歳）がかねてより病氣療養中のところ令和4年8月20日他界されました。工業会の発足当時からご尽力を頂き感謝の言葉しかございません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



【編集後記】

プラ新法が施工され、様々な企業、団体からRPFの利用に関する問い合わせが増えてきています。マテリアルリサイクル、サーマルリサイクルのみならず、ケミカルリサイクルの一役をRPFが担う様になって参りました。環境省もRPFの製造現場だけではなく、利用している施設の見学も工業会に依頼があるほど、益々RPFの需要が高まってきていると感じております。

工業会は秋から冬にかけて勉強会実施や工場見学会、各委員会での全体会合が活発になって参ります。

また青年部会も新たに発足し、若いメンバーのアイデアも積極的に取り入れながら運営を行ってまいります。

発足後 10 年が経過しました。この 10 年間を振り返りつつ、新たな 10 年に向かって様々な情報を会員の皆様にご提供させていただきます。

新たな会員増強も踏まえ、会員の皆様のご理解、ご協力を賜ります。

何卒宜しくお願い申し上げます。

(文責 ; 総務広報委員長 加山順一郎)

編集制作:総務広報委員会発行:一般社団法人日本RPF工業会

令和4年9月吉日

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-2 高梨ビル5階

TEL:03-6206-8000

FAX:03-5296-0303

<http://www.irpf.gr.jp>